



# ホームレス

町長 大谷 隆 照

景気が上向いてきたといわれますが、そのことを実感として感じることはまだむずかしいようです。自殺する人の数は依然として年間3万人を超えています。すし、ホームレスの人の数も減ったように思えません。貧富の階層の二極化ということがここに来てよくいわれるようになってきました。事実とするなら由々しき事態といわざるを得ません。

だいぶ前のことですが、上野公園にいったとき、長蛇の列に出くわしました。先が見えないので、何のために並んでいる列なのか分かりません。やがて分かったことは、その列は慈善団体による給食をもらうホームレスの人たちの列だったのです。私はその数の多さにおどろきましました。二重、三重に列ができています。

文豪トルストイにこんなエピソードがあります。

トルストイが朝散歩に出かけた時、乞食にお金をねだられました。たまたまそのときトルスト

イは札入れを持っていませんでした。「許してくれたまえ、今持ち合わせていないのだ」というと、男の汚れた手を握りしめて、「いまは君に与えることができるのはこの握手だけだ。見受けるところ、君は健康だ。頼む、何か仕事を見つけて働いて生活を立ててくれたまえ。ぼくの一生の願いだ。頼む、やがて男は涙をこぼし、「だんな、こんなすばらしい握手をしていただいて……私がこれまでいたたたんだんなお恵みにもまさるお恵みです。ありがとございませす。私は働きます。必ず働きます。誓います。」

トルストイの人道主義を伝える恰好のエピソードです。

しかし、この長蛇の列のホームレスの人たちを、もし今トルストイがみたら何というのでしょうか。やはり一人ひとりの働く意欲の問題に目を向けるのでしょうか。それとも働きたくても働く場を得られない社会の構造に目を向けるのでしょうか。

## 思いやりの心で明るい社会を

# 勇気をもって

五霞東小学校6年生の作文

私は、前に、道でいじめられている小さな女の子を見ました。私は、その女の子を見ていじめのを止めようとしましたが、見ないふりをしてそのまま、家に帰ってしまいました。でも、自分の気持ちがみょうに落ち着きませんでした。なぜなら、あの女の子のことが頭からはなれなかったからです。「どうしてあの時助けてあげられなかったのだらう。」と思うと胸が痛みました。

次の日も、その女の子のところにに行きました。またしてもいじめられていました。「助けてあげよう。」と何度も何度も心の中でさげびました。そして、一歩進もうとしても体がふるえて進みません。「がんばるんだ、女の子は男の子4人にいじめられているのだ。助けなきゃ女の子が危ない。」と心の中でさげびました。「どうして、こんなに、自分は、弱虫なんだ。もっと自分

のように強くなれよ。」と自分に言い聞かせました。そのうちに、女の子がぶたれなぐられそうになった。「小さい子をいじめているのになんで、あんたは助けないんだ。私だったら助けるわよ。」と自分が友だちに言ったことを思い出しました。そして、男の子のこぶしが女の子の目の前にきた時、私は思いきって「やめろ。」とさげんでいました。本当に自分でもビックリです。「このままやるとだれかに知らせるわよ、それでもいいの。」という男の子たちは「何だよ。」と言ってきた。「小さな子をいじめて何がおもしろいんだよ。」と心臓がドキドキしながらもっと大きな声で言い返しました。男の子たちは、私の言うことを聞いて女の子をいじめるのをやめました。でも自分で勇気を出して言えたことは、今でもビックリで夢のようでした。この出来事から、自分の心の中にはつきりのこったことは、いじめをする、悪口をいうこと、仲間はずれにすることは、相手の心をきずつけることなので、決してやってはいけないということ。だからこれからも、そんなことをしている人がいたら「やめなさいよ。」と勇気をもって助けてあげたいと思います。勇気のある人がふえればいじめはきつとなくせると思っています。私はぜったい友だちや小さい子にやさしくできる人になって楽しい学校をつくりたいです。

## 無料法務総合相談所 開設について

日時  
6月4日(日)  
午前10時から午後3時まで  
場所

・土浦市社会福祉センター  
土浦市大和町9番2号  
ウララ2ビル4階

・道の駅しもつま2階研修室  
下妻市数須140番地  
相談内容

境界争い、相続、贈与、売買などの登記手続、サラ金の取立て問題、夫婦、親子などの家庭内の問題、子どものいじめ、DV など

料金 無料  
お問い合わせ  
水戸地方法務局総務課

☎029(227)9911  
平日、電話でも相談を受け付けております。

・時間  
午前8時30分から午後5時まで

☎029(227)9920

